

しごとサポート!

第22号

※障害のある方が安心して働き続けることができるように、仕事に関する相談や支援を行っている文京区の支援機関です。

超短時間 × 働き方の選択肢



●写真左:代表取締役 はやし ひでき 林 秀紀氏
写真右:IT職場実習の様子

みんながチャレンジし活躍できる、幸せな社会を創る 株式会社タイタンコミュニケーションズ

●ソフトウェアロボットを使った、 超短時間障害者雇用モデル

RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)とは、パソコンを使ったデータ入力等の事務処理を自動化するためのソフトウェアです。今回ご紹介するのは作業を効率化し、業務を削減するIT技術を活用して、障害者の『超短時間雇用』に取り組んでいる株式会社タイタンコミュニケーションズです。

代表取締役の林氏はITコンサルタントのプロとして今まで様々な企業に関わってこられ、企業の業務効率化に取り組んできました。当初は企業利益の最大化のみを命題としていたそうですが、皆が幸福になる社会に目を向けて再度取り組み方を考えた結果、ITを活用し作業を効率化することで障害者をはじめ、あらゆる立場の人が自分らしく活躍できる場を創造したいと障害者の『超短時間雇用』への取り組みを始めました。また、同社では慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科前野隆司教授と共同で、社会の幸福度向上を目指した実

証実験「活躍協創プロジェクト」をおこなっており、就労移行支援事業所や就労継続支援(A型・B型)事業所へIT業務の発注もおこなっています。

『超短時間雇用』の特徴は依頼する業務を具体的に定義し、ジョブ単位で仕事を依頼するところにあります。同社では「人を雇うほどのことではないし、仕方ないからやっている」、そんな企業の業務をITにより自動化しながら、人にしかできない業務や自動化に適さない部分を雇用の新しいチャレンジの場としています。当初は雇用を進めるにあたって不安な気持ちもあったようです。しかしながら、実習を行い事前に働く人の適正やスキル、そして配慮事項について知る時間を持つことができ、また生活面でのケアについては就労支援機関よりアドバイスを受けることで安心して進めることが出来たそうです。『超短時間雇用』では障害者雇用率制度の週20時間未満での雇用となりますが、長時間安定して働きづらい方に新しいチャレンジの場を提供しています。

「今回の取り組みはご発注頂いた“企業”、働いて下さっている“地域の方”、支えて下さっている“支援機

超短時間 × 働き方の選択肢

関”の皆様が連携して踏み出すことが出来た一歩”だと話されます。今後も多くの方に参加頂き、チャレンジをもとに繋がれるチームでありたいと熱心に語っていました。

文京区では障害者雇用の拡大を図るため、区内中小企業において、障害者の職業体験の受入れを支援するため「文京区中小企業障害者職業体験受入れ助成事業」をおこなっております。また、あわせて実習を利用される方を助成する制度も用意しています。

コロナ禍での生活様式の変化に伴い、働き方や業務内容に様々な影響が生じております。変化する社会の中でも共生社会という理念を持ち続けることにより、既存の働き方にとらわれることのない新しい働き方が可能であると確信することが出来ました。

(インタビュー・構成:秋元 全和)



【会社概要】

株式会社タイタンコミュニケーションズ
 東京都荒川区町屋5-17-20-403
 TEL 050-6861-0046 FAX 050-3156-1910
<https://titan-com.co.jp/>
 『みんながチャレンジし活躍できる、幸せな社会を創る』を企業理念として、RPA（ロボットによる業務自動化）システム「ミラロボ」を開発・販売。
 みんなが使えるやさしいITで、1000万人の活躍の場を創出するというVisionを打ち出している。

EVENT×NEWS

「講演会のお知らせ」

『超短時間雇用と地域の障害者雇用の可能性』

～新型コロナウイルス感染拡大の状況の中で～

“もっと両想いを増やそう
 これからの時代のわたしとあなたの新しい働き方”

各地の自治体と連携して「超短時間雇用」を進めて来られた東京大学先端科学技術研究センターの近藤武夫准教授をお招きし、「ウィズコロナ・アフターコロナの働き方」についてお話いただきます。



講師 こんどう たけお
近藤 武夫氏

東京大学先端科学技術研究センター
 人間支援工学分野准教授
 多様な障害のある人々を対象に、教育や雇用場面での支援に役立つテクノロジー活用や合理的配慮、修学・雇用制度のあり方に関する研究を行っている。川崎市、神戸市の超短時間雇用モデルの仕組みづくりに携わる。



報告 はら しげあき
株式会社タイタンコミュニケーションズ 林 秀紀氏
 RPA（ロボットによる業務自動化）システム「ミラロボ」を開発・販売。
 企業内にある様々な業務を分解して全国の障害者でシェアする「活躍協創プロジェクト」事業を開始。

文京区障害者就労支援センター **講演会**

2020年 **10月9日(金)** ※手話通訳あり

13:30開場/14:00開演/16:00終演予定

文京シビックセンター26階スカイホール

ZOOMでのオンライン同時開催

事前にお申し込み下さい。(費用はかかりません)

主催 文京区障害者就労支援センター 後援 飯田橋公共職業安定所

職業ガイダンス参加しませんか

【開催予定日】

10月:7日(水)、21日(水)

11月:4日(水)、18日(水)

12月:2日(水)、16日(水)

※実施時間を増やし人数制限をおこなっております。

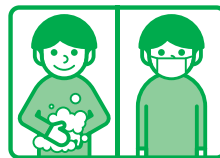
まずはご予約ください。

(電話・FAX・メール・直接お越し頂いて)

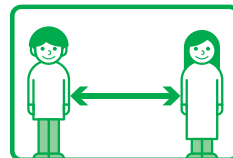
電話 03-5805-1600

FAX 03-5805-1601

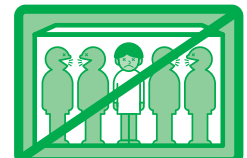
メール daihyo@bunkyo-shuroushien.jp



手洗いの徹底
 マスクの着用

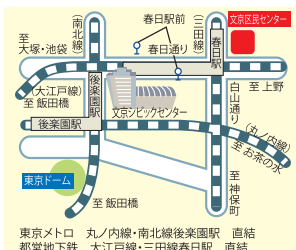


SOCIAL DISTANCE
 距離を保とう



NO! 3密
 密閉・密集・密接

新型コロナウイルスの感染防止対策を実施しておまちしております。



就労支援のお問い合わせ

TEL 03-5805-1600 FAX 03-5805-1601 E-mail: daihyo@bunkyo-shuroushien.jp

文京区民センター1階 文京区障害者就労支援センター

〒113-0033 文京区本郷4-15-14

文京区障害者就労支援センター通信「しごとサポート」第22号(令和2年9月15日発行)

発行■文京区障害者就労支援センター 毎回、障害のある人の「働く」を発信していきます。次号もご期待ください。